

三小タイムズ

令和2年6月11日発行 校長 辻 久恵

がっこう たんけん(1年生)

ソーシャルディスタンスを守りながら、1年生が学校探検をしていました。保健室、音楽室、応接室、校長室、職員室等を興味深く見ていました。三小のことを知って頑張ってください。



調布 FM(三小紹介)

○再開の気持ち

待ちに待った子供たちとの再会、本当にうれしかったです。

どの子も「頑張るぞ!」と気迫に満ちた笑顔でした。

授業を終えてニコニコしながら職員室に戻ってきた教員が「今日の授業楽しかった。明日はもう一工夫しようと思う。」と声も弾んでいました。

まさしく「学校は子供のためにある、教職員は子供のためにいる。」を実感しました。

休校中も保護者の皆様、地域の皆様に変にお世話になりました。生活指導部の教員が学区域を見回ったときにも「不要不急の外出を控える」という約束を守っている三小の子供たちですので、外で見かけることはありませんでした。ご家庭や地域で子供たちを見守ってくださっているおかげです。感謝の気持ちでいっぱいです。

○休校中の取組

調布市教育委員会が環境を整えてくださり、保護者の皆様のお力添えのおかげで、教員の子供への募った思いを「オンライン朝の会」であらわすことができました。

6年生は試験的運用を含め5回、1年生から5年生は3回ずつ行うことができました。

「あいさつ」、「健康観察」に加えて、発達段階に応じて「好きな食べ物」「今日の目当て」等、内容を工夫して担任と子供、そして、子供同士のつながりをもつことができました。高学年は、ズームの機能を駆使してグループでの意見交換にも挑戦していました。

その上、調布市教育委員会が動画の配信もできるようにしてくださいました。各学年や担当が工夫を凝らして作成した動画をご家庭で保護者の皆様が、お子さんと一緒にご覧になり、学習を進めていただけたことに御礼申し上げます。

例えば、1年生は「鉛筆の持ち方」や「ひらがなの4つの部屋」の動画を配信しておりました。学校が始まり、ひらがなの学習をする際に、スムーズに進めることができました。

コロナの2波、3波がないことを祈っていますが、万が一襲ってきたときにはオンライン学習ができる手ごたえを感じました。

教科書配布や課題の配布・回収の折には保護者の皆様にご足労いただきましてありがとうございました。教職員で話し合い、安全のために細心の注意を払って行いました。

また、登校日においても、密にならないように3グループに分け、下校後は毎回消毒を行いました。その際、給食調理員をはじめ本校教職員が一丸となって「チーム三小」で対応いたしました。